

つぎの ぶんしょうを よんで、もんだいに こたえましょう。

そこからかえったら、手をあらいましょう。手は、きれいに見えても、よれています。

わたしたちは、一日のあいだに、いろいろなものに手でさわります。ドアのとって、てすり、ボール、つくえ。そのたびに、目に見えない小さなよれが、手につきます。

よれた手のまま、おやつをたべると、よれが口の中に入ってしまう。すると、おなかがいなくなったり、かぜをひいたりすることがあります。

手をあらうときは、せっけんをつかって、ゆびのあいだや、つめのまわりまで、ていねいにあらいます。さいごに、水でよくながしましょう。

(このもんだいのための かきおろし)

(一) 手には、どんなよれがつかますか。ぶんしょうから十五字までで、かきぬきましょう。

	目	に	見	え	な	い	小	さ	な	よ	れ		

(二) よれた手のまま、おやつをたべると、どうなりますか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア 手がきれいになる。

イ おやつがおいしくなる。

ウ よれが口の中に入ってしまう。

ウ

(三) 手をあらうときは、なにをつかいますか。ぶんしょうから五字までで、かきぬきましょう。

せ
っ
け
ん

(四) 手がきれいに見えても、あらったほうがよいのは、どうしてですか。二十字までで、かきましょう。

目	に	見	え	な	い	よ	れ	が	つ	い	て	い
る	か	ら	。									

【小I】国語 文章問題 説明文 3 答えと解説

問一（二十五点） 答え：目に見えない小さなよごれ

解説：二つ目のまとまりの、さいごの文から。

問二（二十五点） 答え：ウ

解説：三つ目のまとまりの、さいしょの文から。

問三（二十五点） 答え：せっけん

解説：四つ目のまとまりから。

問四（二十五点） 答えの例：目に見えないよごれがついているから。

解説：一つ目と二つ目のまとまりから。「見えないよごれがついている」が書けていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①目に見えない（小さな）よごれ

②手についている